

注目スポット



因島発祥の果実を使った手作り大福が人気

因島はっさく屋 **学び** **OK** **P**

ハッサクを果実のまま、白あんと一緒にみかん餅で包んだ名物「はっさく大福」(1個200円)は、果肉のほろ苦い酸味とあんの甘味のハーモニーが絶妙。因島大橋を正面に望む3面ガラス張りの開放的な店内でイートインできる。

- ◆尾道市因島大浜町246-1 ☎0845-24-0715
- ◆営業時間/8:00~17:00(売り切れ次第終了)
- ◆休業日/月曜、火曜、8月中旬~9月中旬

ひと足延ばして



小島にひっそりと残る  
来島村上氏の居城跡  
来島

戦国時代の来島村上氏が城を構えた来島は、今治市の波止浜港から定期船で5分の所にある。島全体が城跡で、一部には石垣が残されており、城主の館跡と伝わる場所に心月庵、城内には村上神社も立っている。

- ◎今治市観光課 ☎0898-36-1541
- 今治地方観光情報センター ☎0898-36-1118

因島や能島を含む芸予諸島の「村上海賊」が2016年、日本遺産に認定。詳細は専用サイトへ! **日本遺産 村上海賊 検索**



今治市村上海賊ミュージアム **学び** **OK** **P**

能島城の出土品や陣羽織、実際に使っていたとされる武器をはじめ、能島村上氏ゆかりの品を多数展示。実物大の模型やクイズなど、楽しみながら村上海賊について学べる仕掛けがいっぱい。

- ◆今治市宮窪町宮窪1285 ☎0897-74-1065
- ◆開館時間/9:00~17:00(入館は16:30まで)
- ◆休館日/月曜(祝休日の場合は翌平日)、年末年始
- ◆常設展示観覧料/大人310円、65歳以上250円、大学生160円、高校生以下無料
- ※2020年4月1日に「今治市村上水軍博物館」から改称

織田信長の瀬戸内海進出を2年遅らせたといわれるほど強力だった村上海賊。実は相当な知識集団でもあり、出土品の中には約500年前に中国やベトナムと交易していたことを示すものもあります。



お土産

館内にある「JiBaカフェ能島」ではボールペン(2本セット356円)やLEDライトキーホルダー(458円)などバラエティーに富んだ村上海賊グッズを販売。



今治市村上海賊ミュージアム  
ミュージアムパートナー会長  
矢野均さん

大山祇神社

【おおやまづみじんじや】

海、山、戦いの神様として古くから信仰を集めてきた。多くの武将が戦勝を祈願し武具を奉納したことから、宝物館には国宝・国指定重要文化財の武具類の約8割を収蔵している。

- ◆今治市大三島町宮浦3327 ☎0897-82-0032
- 【宝物館】◆開館時間/8:30~17:00(入館は16:30まで)
- ◆休館日/無休 ◆入館料/大人1,000円、高・大生800円、小・中生400円



因島水軍城 **学び** **OK** **P**

【いんのしませうぐんじょう】

全国でも珍しい城型資料館。因島村上氏の武具や遺品、古文書など貴重な資料を展示している。高台に位置し、向かいには約260年間、因島村上氏の本拠地として使われた青陰城のあった青影山がそびえる。

- ◆尾道市因島中庄町3228-2 ☎0845-24-0936
- ◆開館時間/9:30~17:00(1月2日、3日は10:00~15:00)
- ◆休館日/木曜(祝休日の場合は開館)、12月29日~1月1日
- ◆入館料/大人330円、小・中生160円、未就学児無料



標高275.7メートルの青影山の頂上には青陰城本丸跡などの遺構も。



島の覇権を握った  
海賊衆の隆盛訪ね  
島々を巡る

因島 広島県尾道市  
能島 愛媛県今治市  
来島 愛媛県今治市

村上海賊の歴史

南北朝時代から戦国時代にかけて芸予諸島を中心に活動した海賊衆。因島、能島、来島に分かれていた村上三家は、「三島村上」とも総称される。往来する船から通行料を徴収することで得た莫大な財力と強力な武力を背景に、瀬戸内海の覇権を握った。しかし、豊臣秀吉が1588年に出した海賊禁止令により衰退する。

城FILE 6

能島城

構造 海城  
築城者 不明  
築城年 14世紀中頃か  
遺構 郭、石垣

今治市宮窪町瀬戸内海の中世海城としては唯一の国史跡。島全体が城塞化され、本丸、二の丸、出丸などの曲輪跡が残っている。

ゆかりの武将

村上武吉 ?~1604年

1550年ごろには能島村上氏の統率者としての地位を確立し、「三島村上」の頭領格となる。最盛期には堺から坊津(薩摩半島)までといわれる海上王国を実現。どの大名にも臣従することなく独自の姿勢を貫いた。



潮流体験船

【ちようりゅうたいげんせん】

能島城跡から船瀬瀬戸、伯方・大島大橋というルートで約40分かけてクルージング。ホームページではその日の潮流が最も速くなる時間帯を紹介しているの、ぜひ事前にチェックを。

- ◆今治市宮窪町宮窪1293-2 ☎0897-86-3323
- ◆運航時間/9:00~16:00(最終受付16:00、1時間間隔で随時運航) ◆定休日/月曜(祝休日の場合は翌平日) ◆乗船料/中学生以上1,200円、小学生600円、未就学児無料 ◆定員/40人(10人以上の場合は要予約)

日本最大の海賊と恐れられた村上武吉。因島、能島、来島の三家から成り、互いに強い同族意識で結ばれていた。中でも最強を誇った村上武吉率いる能島村上氏が本拠としたのが能島城だ。周囲850メートルの能島と、すぐ南のさらに小さな鯛先島にまたがって立地し、両島はかつて橋でつながっていたという伝承がある。

江戸時代以降、無人島となっていた城跡は発掘調査が進められたものの、今も多くの謎に包まれている。定期船がないため上陸することはできないが、大島の宮窪漁港を出航する潮流体験船で海上から見ることは可能。島に近づくとつれて激しく複雑にうねる潮を目の当たりにすると、海賊衆の操船技術がいかに高かったかを実感できる。

乗船場の向かいに立つ今治市村上海賊ミュージアムに展示されている出土品や資料でその実像に迫った後は、しまなみ海道を北へ。大三島で彼らの信仰を集めた大山祇神社を参拝し、因島村上氏が根城を置いた因島では城型資料館の因島水軍城で興亡の歴史をたどる。村上海賊の勢力拠点となった芸予諸島の島々にゆかりの地を訪ねて回れば、自在に海原を駆け巡った海の武将たちの躍動する姿がありありと浮かび上がる。

START

岩礁に残る橋跡の柱穴

能島村上家の家紋入り陣羽織  
(村上海賊ミュージアム所蔵)